

名 称	平成 26 年度 第 2 回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時	平成 27 年 3 月 5 日(木)14:00～16:00	
場 所	ほどがや市民活動センター (アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	浅井 経子 委員 (八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科 教授) 小倉 敬子 委員 (公財)かわさき市民活動センター 理事長) 有元 典文 委員 (国立大学法人横浜国立大学) 三田 竜平 委員 (一般社団法人横浜青年会議所) 山崎 滋 委員 (保土ヶ谷区連合町内会長連絡会)
	保土ヶ谷区役所	地域振興課長 学校支援・連携担当課長 山本 秩朗 地域振興課 生涯学習支援係長 大屋 将佐 同 生涯学習支援係 佐藤 保 同 生涯学習支援係 川満 由佳 同 生涯学習支援係 平山 啓子
	協働運営会議	代表 小林 由美子
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	アクティオ株式会社 東日本事業部 佐熊 邦弘 アクティオ株式会社 東日本事業部 富崎 通 アクティオ株式会社 東日本事業部 藤原 さなえ ほどがや市民活動センター センター長 岩堀 祐一 同 スタッフ 望月 智子 同 スタッフ 中村 美奈 同 スタッフ 正法 みどり
欠席者	竹迫 和代 委員 (参画はぐくみ工房 代表 兼ファンリレーター)	

議 題	(1)平成 26 年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務 (2)ほどがや市民活動センター協働運営会議から (3)評価シート記入 (4)その他 意見交換
資 料	1.平成 26 年度 ほどがや市民活動センター 評議会委員・名簿 2.平成 26 年度下期 ほどがや市民活動センター 事業報告書一覧 3.平成 26 年度下期 施設利用状況 4.平成 26 年度下期 事業報告書 5.平成 26 年度下期 街の学習応援隊 登録状況・活動状況 6.ほどがや市民活動センター 協働運営会議 資料 7.平成 26 年度下期 ほどがや市民活動センター 活動報告 評価シート 8. ほどがや市民活動センター評議会会則

\*会議成立 委員 6 名中、5 名が出席。

ほどがや市民活動センター評議会会則第 8 条第 2 項に基づき、定数の過半数を充たし、本会議は成立した。

あわせて、H26 年度第 2 回評議会において、議長は小倉委員、副議長は浅井委員が選出されていることを確認した。

議題(1)平成 26 年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務

(1)-1

「平成 26 年度下期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「場の提供」、「情報の提供」、「相談・コーディネート」について報告

- \* 場の提供⇒各団体が定期的な活動を行っている為、部屋利用、機材利用、印刷機など一定のリピーターが、上期同様更に増えている。下期は地域振興課と連動して行っているはぐくみ塾の講座等で広く使われていることもあり、H27 年 1 月末までで、利用者数 17,073 名。26 年度の目標利用者数の 19,600 名の目標人数に近づいている。同じく稼働率は 1 月末で 53.4%。H26 年度の目標の 54%に近く、上向きに推移している。
- \* 情報の提供⇒アワーズの広報媒体(メルマガ、ホームページ、情報紙)を提供することにより、より広く利用者の拡大に結びついている。情報を提供する団体や施設との連携も図れ、登録団体の情報を提供することで、団体の活動支援につなげることができている。ホームページのアクセス件数も、1 月末までで 8,743 件、H26 年度の目標件数の月件数が超えているので、HP も順調に見て頂けていると思われる。H24 年、H25 年、H26 年と、HP アクセス数が右肩上がりに上昇している。(HP アクセス件数、H26 年 4 月～9 月 47,058 件 月平均 7,843 件/昨年同期 44,272 件 月平均 7,378 件)、情報誌も 3 ヶ月ごとに発行している。近隣各施設、相鉄線の最寄りの沿線 4 駅に配架している。発行部数は毎回 2,100 部、メールマガジン発信数が 343 件。3 月 1 日より Facebook を開設した。
- \* 相談・コーディネート⇒H26 年 4 月～H27 年 1 月、相談件数 452 件/昨年同期 321 件。色々な活動の中でアワーズの周知を行ってきた成果が出たのだと思われる。

【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問)街のレポーター講座修了後に、活躍の場があることを明示したほうがよいのではないかと？

(回答) 講座参加者に今後活動の場があれば参加するか否かのアンケートをとり、結果的に 8 名が参加することとなった。6 月の情報紙にて活動を始める予定。情報紙の記事作成のために、毎月定期的に掲載記事について情報共有を含めたレポーター全員参加の編集会議を開催する。

(質問)相談件数がアップしているのは何故か？特別なことをしたのか？

(回答) 昨年はアワーズの周知の為に応援隊も含めて、様々な場所に出向き、アワーズを紹介した結果だと考える。

【委員からの意見】

- ・区民レポーターの記事は記名式にしたほうがよい。また、個人的な思いを入れない、客観的にみるということに留意することが必要と考える。
- ・(事業報告書一覧) 場の提供と、情報、コーディネートのねらいが、ねらいになっていないので、具体的な内容とねらいをしっかりと精査して書いていただきたい。
- ・相談件数が増加しているが、今後につながる新たな発見の為に、相談を受けた際、どの媒体でアワーズを知ったのかりサーチしてはどうか。

(1)-2

「平成 26 年度下期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「新たな担い手の視野を広げる」「サークル・団体の活動・事業・運営を支援する」を報告

- \* ボランティア入門講座⇒1月 28 日・2 月 4 日・5 日・25 日に実施。1 月末迄のデータに基づき報告をしているため、今回は、資料などでの報告は、せず。
- \* シニアライフ講座⇒シニアライフ講座(5 回連続講座)を実施した。定年退職後の方々を対象に地域デビューや、今後の生涯学習につながるきっかけ作りを目標に開催している講座。  
内容は、和のシリーズをテーマに、陶芸、苔玉作り、和綴じを行った。今後グループ化できる方向に持つ

ていけたらと考えている。

\* IT相談会⇒10月～1月までの下期で15回開催、参加人数＝183名。上期、下期(1月末まで)の合計で428名。アワーズ登録団体の、パソコンほどがや宿との共催で、毎週金曜に開催している。初めての方、リピーターの方共に増えており、他の団体の支援にも繋がっている。継続していることがひとつのPRだと考える。端末機も増えているので、新たな年度でも、パソコンほどがや宿と共催で、iPadなどの講座を考えている。

**【委員からの質問とアワーズからの回答】**

(質問)参加者の中に、地域活動を実際に始めた方がいたとあるが具体的にどんな地域活動をはじめたのか？

(回答)シニアライフ講座で紹介した登録団体、“ほどがや元気村”と、“ほどがやガイドボランティア”、その両方に参加している。

(質問)シニアという言葉嫌がる方々もいるのではないのか？

(回答)特に出していない。シニアという言葉で安心して参加する方もいる。

(質問)5回講座だが、全部出なければいけないのか？

(回答)目的が回を重ねての仲間作りなので、人数合わせの為に最初から単発でも可能とは言えず、段階を経て単発の参加者も受け入れている。※締切り前に参加人数に達していない場合などは、単発での参加を受け入れることもある。

(質問)グループを作るという話があったが、参加者が主体的に動いているのか？

(回答)今のところアワーズ主体の講座に参加したい、との意見がほとんどだが、何回か参加しているうちに、主体性を持って活動をして欲しいと思う。

(質問)リピーターはいるのか？

(回答)2名いる。

(質問)講座の同窓会などを企画して開くと顔合わせや近況報告となつていいと思う。

(回答)検討する。

(質問)IT相談会は素晴らしい。スキルアップのような内容でやっているのか？

(回答)対応スタッフが常時6～8人いて、初歩的なパソコンの操作などの相談から、ある程度できる人からの質問など、基本的になんでも受けていて内容は幅広い。相談会に参加してもらうことで質問者側、対応者側双方のスキルアップに繋がると考える。

(質問)一回の相談者数の平均人数と年齢は？

(回答)平均15名前後、開催時間が平日午後なので、働き盛りの男性はいないが、様々な年齢層が来ている。

**【委員からの意見】**

・講座をする際に、参加者同士がすぐに打ち解けるのは難しく、アイスブレイクなど気持ちをほぐした後、ワークショップの流れを重視した講座は重要だ。今後も続けてほしい。

(1)-3

「平成26年度下期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「交流の機会を創出する」「街の学習応援隊」事業を報告

\*利用者交流会⇒利用者交流会第2弾では、10月21日に「秋の横浜山手散策」というイベントを開催、ガイドボランティアの案内で山手の洋館をめぐり、普段は入れない場所などを内覧した後、利用者交流会を開

催した。第3回しゃべろうかいでは1月17日に「1694年東京オリンピック～あの頃の神奈川・ヨコハマ」16mmフィルムの上映会を開催。当時のトランペットでファンファーレを吹くパフォーマンスと併せて、大変好評だった。

\*協働運営会議の事務補助⇒利用者交流会、しゃべろうかい含めた事務補助を実施。生涯学習フォーラムに参加。

\*生涯学習フォーラムへの参画⇒フォーラムや実行委員会、役員会を実施。検討内容について参加。生涯学習フォーラム「まなぶん祭り」11月29日・30日開催、1,117名参加、アワーズは、例年通り、わたがしを無料配布。また食べ物関係がすぐに売り切れてしまうという経緯があり、今期より“おやき”の販売を始めた。

#### 【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問)利用者交流会は雨天時の場合はどうするのか？

(回答)雨天でも決行する。警報が出た場合や、電車が止まる事態の場合は中止。

(質問)その際の連絡方法は？

(回答)センターより各参加者へ連絡。

(質問)フォーラムのまなぶん祭りの人数は多いと思うが、経年のデータが無いが人数は増えているのか。

(回答)例年だいたい同じくらいの参加人数。

(質問)フォーラムの食事が早く終わってしまうとあり、新たに“おやき”を導入したとあるが、問題はクリアできたのか？

(回答)クリアした。

#### 【委員からのご意見】

・様々な事業を展開していることは素晴らしい。

・街の応援隊など自治会・町内会から問合せが来ているそうだが、こちらから自治会・町内会へ出かけて行ってアピールした方がよい。毎回年度初めに自治会などに冊子持参で応援隊のアピールに行くといい。

(1)-4 「平成26年度下期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「区民利用施設との連携」、「広報・周知」、「評価・検証」、「研修」を報告

\*街の学習応援隊⇒研修会・交流会 2月28日に「一瞬で人をひきつける魅力ボイスを表す3つのコツ」を開催した。18名参加。パフォーマンスをする際の声の出し方や、腹式呼吸などの基本的なことから、質疑応答など活発なディスカッションが為された。

PR事業・PR展示⇒「区民ギャラリー作品展」を10月27日～11月4日に開催。区役所1階の展示コーナーにて、応援隊の方々の活動作品を展示。

「街の学習応援隊フェスタ」を10月5日に開催。アワーズ全館貸切りで、応援隊の皆さんによるパフォーマンスの発表や、体験講座を実施、延べ100名の方々が見学・参加。

\*各施設との連携事業⇒「ボランティア入門講座」は区社協、子育て応援拠点こっころ、アワーズ3者の共催事業を実施。

星川地域ケアプラザ主催「ほっしーのわいわいフェスティバル」を11月16日開催、アワーズも参加。

\*ものしりサプリメント講座⇒「メディカルハーブ入門」12月13日に開催、15名定員で、結果18名の参加。大変好評だったので、事後グループを作るための足掛かりとして、第2弾を次年度4月に開催予定。

**【委員からの質問とアワーズからの回答】**

(質問)土曜学校などに、応援隊を参加させて活動の幅を広げたらどうか。

(回答)土曜学校には、街の学習応援隊事業から、2団体の、かるたと折紙の団体が既に参加活動している。

(質問)学習応援隊の登録数は同じだが、成立数が減っている原因はあるのか？

(回答)同じ依頼者が同じ応援隊に依頼するのに、直接交渉することが多くなった。

その場合、特に報告義務は無いので、(成立)数が反映されない。また、去年は有料老人ホームからの依頼が多く、その場合はお断りしているの、そういった不成立のケースも多くなったからと考えられる。また、人気の応援隊の場合は予定が合わず、不成立の場合もある。

(質問)応援隊について有料老人ホームなどには派遣しないことは決まっているのか？

(回答)決まっている

(質問)先日、ホセさんを老人ホームに紹介したが、いけなかったのか？(小林氏より質問)

(回答)アワーズを通さず、(小林氏が)個人的に依頼することについては自由だが、予算のある民間の依頼を受けるようになると、アワーズが派遣会社“プロダクション”のようになってしまい、著作権の問題も出てくるので断っている。

(質問)第2弾「メディカルハーブ」の講座は、“団体結成への足掛かり”とあったが、意図的に仕掛けていく気持ちがあるのか？

(回答)決して強引ではなく、連続講座の実施や事後グループができるようきっかけ作りの機会は、提供したいと考える。

**【委員からの意見】**

・学習応援隊のPRなど、区役所の展示コーナーだけでなく、保土ヶ谷駅の展示コーナーを利用すれば、保土ヶ谷駅周辺へのアワーズ周知にも繋がると思う。

**議題(2)ほどがや市民活動センター 協働運営会議から**

ほどがや市民活動センター協働運営会議 平成 26 年度下期 活動報告」に基づき、協働運営会議代表より報告

・拡大ミーティング:(役員会、しゃべろう会、交流会、プロジェクトメンバー)

① 10月7日 ②11月6日 ③12月8日 ④1月26日 ⑤2月26日 計5回開催・・・⑥回目は3月25日開催予定。

・まなぶん祭りに参加 二日目の締めめに協働運営会議の活動の発表を行い、その後音楽を合わせたのPRを実施。

・利用者交流会:第2弾 第3弾のしゃべろう会について 参加者数も毎回定員をオーバーしている。

・下期全体会:3月25日(水)開催予定。

・アワーズ設立10周年として、第1弾利用者交流会(夏開催)で何か企画したい。

・団体カススキルアップ講座:今回より、アワーズ主体主導の企画として、2月7日第1回「以外と簡単！インターネットで活動PR～ブログ、Facebook等のSNSを使った情報発信を学ぶ」を開催。3月7日に第2弾「インターネット被害未然防止講座～インターネットの危ない世界を体験してみよう」を開催予定。

**【委員からの質問とアワーズからの回答】**

(質問)アワーズは10周年として来年度何か企画があるのか

(回答)協働運営会議との話し合いで考えたいが、10周年を記念した講座を実施してもよいかと考えている。

	<p><b>【委員からの意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・区として、“アワーズ10周年”というアピールが、アワーズの周知に繋がると思うので積極的に広報したほうがいい。</li></ul>
課題(3)評価シート記入	
議題(4)その他 意見交換(全般的な質問、意見交換は各事業の説明の中で行った)	

以上